

廣岡 英一 議員

なぜ海浜公園構想は

進まないのか

問 海浜公園等整備事業は、新市建設計画の主要事業である。平成23年度は、検討委託料を予算計上しながら執行されていない。その理由は何か。

答 ワークシヨップを計画していたが、東日本大震災により津波対策の検討が生じたため、これが一段落した後に実施する。なお、命山、防潮堤のかさ上げ、保安林内の開口部の埋め戻しも公園構想と関連があると認識している。

問 これまで、事業着手には枯れ、臭気、荒廃農地などの環境課題に一定の目途をつけることが大切とされてきたが、現況をどう認識されているか。

答 浅羽海岸沿岸地域の環境課題は、解決されつつあると認識している。



6次産業化促進支援事業補助金で開発された商品

6次産業に描く

ビジョンと戦略は

問 6次産業化は、農業と関連産業、農の風景にまでおよびまちづくりであり、袋井ブランドの構築が不可欠と考えるがどうか。

答 地域ブランドの構築は必要であると考えするため、本市のシテイプロモーションや個別認証などの視点から研究していきたい。

山田 貴子 議員

細やかな対応を図るために

女性指導員を

問 地域防災指導員に女性の枠を設けてはどうか。

答 地域防災指導員が全員男性となつているが、今後、男性に限らず、適任者がいれば積極的に選任していただけるよう、自治会連合会をお願いしたい。

津波に対する表示板を

早急に設置すべき

問 海抜表示板や避難方向表示板設置の進捗状況はどうか。

答 津波避難施設の確保対策を最優先に進めており、現在、津波避難場所看板と海抜表示板の設置を進めている。平成24年度には、不足分の海抜表示板を設置していく。方向表示板等の設置も含め、より効果的な方策を検討する。

障がい者に優しい

病院を目指すために

問 障がい者に対応できる専任職員を常時配置すべきでは。

答 「耳マーク」表示を掲示し、筆談で受付を促すとともに、手話のできる職員が3名勤務している現時点では、常時配置は考えていない。新病院に関しても職員一丸となり、思いやりと優しさにあふれる病院となるよう努めたい。



設置された津波避難場所看板